



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8025 URL https://www.tsukamoto.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長 (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 2,076 | △15.1 | △258 | — | △250 | — | △170 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | 2,445 | △17.8 | △195 | — | △203 | — | △136 | — |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 387百万円(2.0%) 2024年3月期第1四半期 380百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2025年3月期第1四半期 | 円 銭 △42.13 | 円 銭 — |
| 2024年3月期第1四半期 | 円 銭 △33.97 | 円 銭 — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 2025年3月期第1四半期 | 百万円 28,963 | 百万円 13,992 | % 48.3 |
| 2024年3月期 | 28,175 | 13,726 | 48.7 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,992百万円 2024年3月期 13,726百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|----------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 30.00 | 円 銭 30.00 |
| 2025年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年3月期(予想) | — | — | — | 30.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|------|---|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,500 | △10.7 | △280 | — | △220 | — | △140 | — | △34.69 |
| 通期 | 10,000 | 2.1 | 0 | — | 100 | 73.9 | 150 | △14.2 | 37.17 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年3月期1Q | 4,069,747株 | 2024年3月期 | 4,069,747株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 34,129株 | 2024年3月期 | 33,910株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2025年3月期1Q | 4,035,702株 | 2024年3月期1Q | 4,019,238株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 7 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 7 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や企業収益の回復などにより経済活動の正常化が進み、雇用環境の改善や賃上げ率の上昇により回復基調となりました。一方、円安を背景としたインフレ不安が根強く、中東やウクライナにおける紛争の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰等が続き、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下において当社グループは、円安の影響や原材料の高騰が続く中、調達コストや販売価格の見直し、販売費及び一般管理費における経費の削減に努めましたが、新規案件、OEM受注の減少、テレビ等の通信販売の不振により減収となりました。

厳しい経営環境下ではありますが、当社グループにおきましては、2022-2024年度を計画期間とする中期経営計画に基づき、引き続きコア事業の強靱化と新規事業開発の促進を行うとともに、消費者へのダイレクト提案やコスト削減による効率経営の実践と経営資源の有効活用による生産性の向上に注力してまいります。培った商人魂とフロンティア精神のもと、モノを製造するだけでなく、そこから生まれるサービスをどう広げられるかを追求し、伝統の継承とともに改革を実行することで、企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,076百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失は258百万円（前年同期は営業損失195百万円）、経常損失は250百万円（前年同期は経常損失203百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は170百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失136百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）II 当第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

<和装事業>

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、大型催事が急遽中止になったため、収益を補填すべく在庫等の現物販売に注力した結果、売上増となりましたが、利益分までは補填することができず損失が拡大しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は209百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント損失（営業損失）は78百万円（前年同期はセグメント損失65百万円）となりました。

<洋装事業>

アパレル事業につきましては、メンズ事業は前年並みに推移しましたが、レディースOEM事業の受注額が減少し減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件が減少し減収となりましたが、納品価格の改善等により、利益率が向上し損益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は910百万円（前年同期比20.3%減）、セグメント損失（営業損失）は38百万円（前年同期はセグメント損失49百万円）となりました。

<ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、OEM受注が減少したことにより減収となりましたが、黒字基調は続いております。

以上の結果、当事業分野の売上高は178百万円（前年同期比23.9%減）、セグメント利益（営業利益）は12百万円（前年同期比55.0%減）となりました。

<健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、GMSや家電量販店での販売は好調に推移しましたが、テレビ等の通信販売の不振の影響が大きく減収となり、損失が拡大しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は539百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント損失（営業損失）は215百万円（前年同期はセグメント損失158百万円）となりました。

<建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、新たなテナント入居があり、賃貸収入が増加したため増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は271百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益（営業利益）は154百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の資産の部は、流動資産における受取手形及び売掛金が641百万円減少したこと、棚卸資産が350百万円増加したこと及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価により834百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ787百万円増加し28,963百万円となりました。

負債の部は、流動負債における支払手形及び買掛金が305百万円減少したこと、輸入仕入による一時的な短期借入金が424百万円増加したこと及び固定負債における繰延税金負債が投資有価証券の時価評価の影響によって254百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ521百万円増加し14,970百万円となりました。

純資産の部は、株主資本における利益剰余金が290百万円減少し、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が578百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ266百万円増加し13,992百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2024年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,685,275 | 2,768,242 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,674,291 | 1,033,284 |
| 電子記録債権 | 135,850 | 160,519 |
| 棚卸資産 | 1,738,096 | 2,088,873 |
| その他 | 617,768 | 752,784 |
| 貸倒引当金 | △2,286 | △1,955 |
| 流動資産合計 | 6,848,997 | 6,801,749 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,990,127 | 1,972,509 |
| 土地 | 10,562,576 | 10,562,576 |
| その他(純額) | 100,548 | 102,740 |
| 有形固定資産合計 | 12,653,252 | 12,637,826 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 61,555 | 62,856 |
| 無形固定資産合計 | 61,555 | 62,856 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,824,264 | 7,658,909 |
| 出資金 | 800,115 | 800,120 |
| 退職給付に係る資産 | 880,774 | 888,963 |
| その他 | 241,547 | 249,334 |
| 貸倒引当金 | △134,849 | △136,234 |
| 投資その他の資産合計 | 8,611,851 | 9,461,093 |
| 固定資産合計 | 21,326,659 | 22,161,776 |
| 資産合計 | 28,175,657 | 28,963,526 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,022,965 | 717,156 |
| 電子記録債務 | 991,481 | 1,162,337 |
| 短期借入金 | 4,924,958 | 5,349,768 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 850,000 | 1,450,000 |
| 未払法人税等 | 52,305 | 14,980 |
| 未払消費税等 | 18,791 | — |
| 契約負債 | 10,589 | 10,490 |
| その他 | 382,316 | 405,781 |
| 流動負債合計 | 8,253,408 | 9,110,515 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,220,184 | 1,626,200 |
| 繰延税金負債 | 2,992,398 | 3,247,100 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 12,660 | 12,660 |
| 退職給付に係る負債 | 202,515 | 213,489 |
| 資産除去債務 | 3,032 | 3,032 |
| その他 | 765,069 | 757,529 |
| 固定負債合計 | 6,195,861 | 5,860,013 |
| 負債合計 | 14,449,269 | 14,970,528 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,829,844 | 2,829,844 |
| 資本剰余金 | 713,177 | 713,177 |
| 利益剰余金 | 6,864,135 | 6,573,213 |
| 自己株式 | △40,802 | △41,067 |
| 株主資本合計 | 10,366,355 | 10,075,167 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,070,312 | 3,648,934 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3,257 | — |
| 土地再評価差額金 | 9,152 | 9,152 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 283,824 | 259,742 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,360,032 | 3,917,829 |
| 純資産合計 | 13,726,387 | 13,992,997 |
| 負債純資産合計 | 28,175,657 | 28,963,526 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,445,153 | 2,076,630 |
| 売上原価 | 1,807,775 | 1,528,944 |
| 売上総利益 | 637,378 | 547,685 |
| 販売費及び一般管理費 | 832,897 | 806,390 |
| 営業損失(△) | △195,519 | △258,704 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 920 | 984 |
| 受取配当金 | 9,568 | 33,418 |
| 保険配当金 | 5,582 | 5,092 |
| その他 | 3,808 | 1,813 |
| 営業外収益合計 | 19,879 | 41,308 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22,471 | 25,906 |
| 手形売却損 | 434 | 433 |
| 為替差損 | 3,424 | 5,231 |
| その他 | 1,751 | 1,987 |
| 営業外費用合計 | 28,081 | 33,558 |
| 経常損失(△) | △203,721 | △250,954 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △203,721 | △250,954 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △67,203 | △80,947 |
| 法人税等調整額 | — | — |
| 法人税等合計 | △67,203 | △80,947 |
| 四半期純損失(△) | △136,517 | △170,007 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △136,517 | △170,007 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | — |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 536,354 | 578,622 |
| 繰延ヘッジ損益 | △13,983 | 3,257 |
| 退職給付に係る調整額 | △5,545 | △24,082 |
| その他の包括利益合計 | 516,826 | 557,797 |
| 四半期包括利益 | 380,308 | 387,790 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 380,308 | 387,790 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 34,123千円 | 24,563千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------------|---------|-----------|-----------------|--------------|----------------|-----------|------------|-----------|
| | 和装事業 | 洋装事業 | ホームファニ シング事業 | 健康・生活 事 業 | 建 物 の 賃 貸 業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 194,768 | 1,141,979 | 220,447 | 649,329 | 238,279 | 2,444,804 | 348 | 2,445,153 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 262 | 103 | 14,000 | 883 | 20,400 | 35,648 | — | 35,648 |
| 計 | 195,030 | 1,142,083 | 234,447 | 650,212 | 258,680 | 2,480,453 | 348 | 2,480,802 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △65,968 | △49,607 | 26,708 | △158,516 | 141,546 | △105,838 | △18,221 | △124,059 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益又は損失 | 金額 |
|--------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △105,838 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △18,221 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用(注) | △71,459 |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△) | △195,519 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------------|---------|---------|-----------------|-------------|----------------|-----------|------------|-----------|
| | 和装事業 | 洋装事業 | ホームファニ シング事業 | 健康・生活 事業 | 建 物 の 賃 貸 業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 209,179 | 910,369 | 165,088 | 539,711 | 251,202 | 2,075,550 | 1,079 | 2,076,630 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | 4 | 13,440 | 77 | 20,333 | 33,855 | — | 33,855 |
| 計 | 209,179 | 910,374 | 178,528 | 539,788 | 271,535 | 2,109,406 | 1,079 | 2,110,486 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △78,601 | △38,048 | 12,014 | △215,953 | 154,689 | △165,899 | △14,258 | △180,157 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益又は損失 | 金額 |
|--------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △165,899 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △14,258 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用(注) | △78,546 |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△) | △258,704 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末まで「その他」に分類していた新規事業のうち、ツカモトウェルネス(株)が行うサウナ及びサウナグッズ関連事業を「健康・生活事業」に変更しております。また、同様に「その他」に分類していた新規事業のうち、和装関連事業を「和装事業」に変更しております。

この変更は、当事業年度に量的重要性が増すことが予測され、管理体制の見直しを行った結果、上記のセグメントへの変更が合理的であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に組替えて記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。